

令和8年度教員研修計画

キャリア・ライフステージ 研修 実施 機関等		基礎力の形成期					
		初任者研修			2年目研修		
		所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (5日間)	総合教育センター I (3日間)、II (4日間)、 III (3日間)	所属校 自己研修 (5時間程度) 校内授業研修 (5時間程度)	総合教育センター (2日間)	フォローアップ研修 (1日間)
育成指標							
教員としての素養	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進		・本県高校教育の現状と課題 ・服務とその責任 ・社会人としての心構えとコンプライアンスの理解 ・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P (2h程度, 1回～n回) ②D (随時) ③C (3h程度, 1回～n回) ④A (随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議		
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解と年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・年間指導計画の改善 ・カリキュラム・マネジメントの在り方	・道徳教育の意義			
	教科教育等の専門性	・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・特別活動の指導の実践	・教科の特質と指導の方法 ・個に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析	・各教科における資質・能力の育成と指導の基礎・基本 ・指導計画・指導案の作成 ・教材研究の進め方 ・教科指導技術の向上 ・総合的な探究の時間の意義と進め方 ・特別活動の指導の意義と進め方	・教科指導における学習内容の系統性、発展性の理解	・教科授業の参観と実施 ・個に応じた指導の進め方	
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・家庭学習の在り方 ・個別指導・グループ指導・斉指導の仕方 ・習熟度別編成による指導	・学習指導要領の理解 ・いわゆる授業づくり3つの視点を踏まえた子どもを主語にした授業実践・授業展開 ・指導と評価の一体化に向けた学習評価	・学習指導における生徒理解の基本的な在り方 ・教育実践課題の交流 ・ICTを活用した教科指導	・校内授業研修 (年間1回5時間程度)	・子どもを主語にした授業実践・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・生徒への励ましと賞賛 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学年経営とホームルーム経営の関わり ・ホームルーム組織のつくり方と運営 ・ホームルーム活動の指導の実際 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導		・情報モラル指導の実際 ・生徒指導の意義と進め方			
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進め方 ・いじめ防止とその対応		・問題行動の理解と指導の進め方			
	教育相談	・発達支持的教育相談と課題予助的教育相談 ・教育相談体制の理解		・カウンセリング技法の基礎・基本 ・教育相談の進め方			
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校組織と運営					
	危機管理	・学校安全の意義と進め方		・教育情報セキュリティポリシー	・事件・事故災害発生時の危機管理		
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談の進め方					
復興教育の視点	・「いわゆる復興教育」の実際		・「いわゆる復興教育」の意義		・「いわゆる復興教育」の在り方		
キャリア教育の視点	・キャリア教育の進め方		・「いわゆるキャリア教育」の意義		・キャリア教育の現状と課題		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・特別支援教育の校内体制の理解 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際		・特別支援教育の意義 ・発達障がい等の基本的理解と支援の在り方 ・多様性と包摂性のある学校の在り方				
ICTや情報・教育データの利活用の視点							

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現及び

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

【高等学校教諭 基本研修内容】

3年目研修		実践力の向上期 教職経験者5年研修		実践力の充実期 / 実践力の発展期 / 総合力の発揮期 中堅教諭等資質向上研修 / ステージアップ研修(前期・後期)			
所属校	総合教育センター	県教育委員会	総合教育センター	所属校	県教育委員会	教育事務所	総合教育センター 他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択 (1日間)、高等学校教諭(1日間)、推奨 研修(1日間任意)
自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	(3日間)	(3日間)	(2日間)	中堅教諭等資質向上研修 一般研修(5日間) 自己研修(10~15日間)	中堅教諭等資質向上研修 (1日間)	中堅教諭等資質向上研修 (2日間)	実践力の発展期/総合力の発揮期 ステージアップ研修(前期・後期) ・テーマ研修(2日間以上) ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修(2日間)
自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回~n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回~n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	自己研修の発表と協議		・君手での教育課題 ・教職経験5年教員へ期待すること	専門職としての教員の在り方	自己研修シェアリング	・ミドルリーダーに求められる資質	・本県教育行政の概要 ・高等学校教員に求められる資質・能力 ・コミュニケーション能力の育成
		・年間指導計画の改善	・カリキュラム・マネジメントの実際	・教育課程編成の手順		・異校種間の連携	・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向
	指導と評価の一体化の在り方	・教科指導法の改善 ・キャリア教育や道徳教育の視点を持った教科目標の設定 ・教材研究の工夫と改善 ・学習評価の要点理解と実践上の工夫 ・教科授業の参観と実施 ・効果的なICT活用の工夫	・学習意欲を高める指導の工夫 ・学習評価を生かした授業の進め方	授業におけるICT機器の活用		・学校公開研究会への参加を通じた各教科等の教材研究	・推奨研修(希望研修) ・高等学校教科スキルアップ ・教科指導の実際
校内授業研修(年間1回5時間程度)	個に応じた指導の進め方(生徒の特性や学習状況の理解等に応じた指導の進め方) ・ICTを活用した教科指導	・主体的・対話的で深い学びを視点とした子どもを主語にした授業の基本的な考え方 ・個々の生徒の学習状況の把握 ・ICTを活用した資質・能力の育成	・教科指導における課題と改善 ・思考力・判断力・表現力等を育成する教科指導の在り方 ・ICTを活用した教科指導	主体的・対話的で深い学びの推進		・主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善の実際 ・学校公開研究会への参加を通じた授業改善	・確かな学力を育むための授業改善 ・ICTを活用した教科指導
	ホームルーム経営と担任の実務		・コーチングの理論と方法 ・生徒指導の考え方や手法の理解	異校種間連携の在り方 ・望ましい学級・学年集団づくり ・ホームルーム経営・学年経営の評価と改善			・情報活用能力(情報モラルを含む)の育成 ・学級・学年経営改善の視点
	いじめ防止と対応の進め方			子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応			・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応
	自殺予防教育の組織的進め方と個への対応 ・教員と生徒の望ましい関係づくり			課題を抱えた生徒の理解と対応			・実効的なカウンセリング理論と技法
				学校教育目標実現のための学校運営・学校評価			・ミドルリーダーとしての組織マネジメント ・学校を支える組織マネジメント
				学校保健計画及び学校安全計画の改善 ・組織的な危機管理の在り方			・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方 ・教育活動と教育法規の関連性
				家庭・地域との連携の意義と進め方			・地域と学校の連携・協働の推進
				所属校における「いわたの復興教育」の推進			・「いわたの復興教育」の取組
			・生徒主体のキャリア教育の在り方	所属校におけるキャリア教育の推進			・いわたのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方
		・特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり	・多様性と包摂性のある学校の在り方	インクルーシブ教育システムの推進と組織的に進める特別支援教育			・共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進 ・心のバリアフリーの理解 ・特別支援教育の動向 ・二次障がいへの対応 ・支援を要する生徒の進路指導

各種校務等、教員としての服務をより効果的・効率的に遂行する手段としてICTの積極的・効果的な活用を図る。